

齊藤 本日は「協働」と「笑顔あふれるまちに」をテーマに意見交換をしたいと思います。まず、始めに、この1年、市民協働事業「いいところ小浜づくり」の採択を受けて活動してきた内容の説明をお願いします。

山本久 郷土研究会では、市内の「ま」をめぐるツアーを企画しました。文化財以外に、現在動いている小浜の姿も見てもらおうと、世界初の結球レタス工場も見学させてもらいました。

川端 旭座再生の会として、旭座の保存活用を目指して活動しています。旭座や西組の町家を現代アートのギャラリーにしたり、一夜限りのジャズナイトなどを開催。大勢のお客さんで盛り上がりました。

山本聡 僕たちは、毎月第3日曜日「道の駅「若狭おぼま」でフリーマーケットをして3年目になります。「いいところ小浜づくり」の採択を受けて、事業をステップアップさせるため、規模拡大に取り組みしました。

齊藤 昨年から、これまで1年限りだった市の助成を、3年間まで継続できるように制度を見直しました。審査は必要になりますが、これから1年間の取り組みについて、どのように考えていますか。

山本久 梅田雲濱や山本和夫をはじめ、小浜の郷土の偉人をめぐるツアーをやりたいと思います。

川端 つばき回廊跡地にできる「まちの駅」の目玉として旭座を活用する計画が進んでいます。市とも調整しながら活動したいです。



左上／各種イベントも開催するミチフリマーケット(道の駅)
右上／旧旭座を会場にジャズナイト(住吉・昨年10月12日)

交流から新たなアイデアが生まれる

市民協働 BOX vol.27

小浜、笑顔あふれるまちに

平成25年度に市の「いいところ小浜づくり事業」に採択された団体の中から3人に出演いただいて、紙面座談会を開催しました。



左から、市民協働課の齊藤GL、郷土研究会の山本久江さん(75歳・多田)、ミチフリマーケット実行委員会の山本聡さん(33歳・生守)、旭座再生の会々長の川端紀史さん(47歳・住吉)

■問い合わせ 市民協働課 ☎内線 390

山本聡 ミチフリマーケットとして独り立ちできる商品を何か作りたいですね。

齊藤 市民協働事業の助成の制度上、こうしたらいいという意見はありますか。

山本久 継続して採択されたとしても助成金が減額されていきますよね(1年目は4分の3。2年目は3分の2。3年目は2分の1)。

山本聡 実際、助成金はありがたいですが、助成金がなくなるときに「できません」となるのは、すぐくもつたいないと思います。

山本久 確かに、それもいえますね。

山本聡 僕たちは、3年という期間内で商品開発をして、ミチフリ単独で動いていけるように目標を定めています。なので、助成金の

減額も仕方がないのかな。と、思っています。

市民と行政が手を取り合って

齊藤 事業に取り組んでいる上で課題はありますか。

川端 わたしたちの会では、つい主^{おも}だった何人かであることを進めてしまいがちです。今後は、周りの人にもお願いして、一人でも多くの協力者を得ながら進めていき

たいと思います。

山本久 さまざまな広報をしているつもりなのですが、新聞折り込みなど資金がなくてできない部分もあります。ミチフリさんは、3月のイベントで新聞折り込みを確保しているのですか。

山本聡 道の駅で出している新聞折り込みチラシのなかに、ミチフリも載せてもらったんです。

川端 わたしたちも同じです。旭座でのイベントと同日に開催された「食のまつり」のチラシに連携することで載せてもらいました。

山本聡 僕たちはお金を持っている団体ではないので、フェイスブックやLINEなどのSNSや、携帯電話のメール、口コミなど、お金がかからない広報活動をしています。



いいところおばめぐり(若狭彦神社・昨年11月2日)

平成 25 年度いいところ小浜づくり事業

旭座
文化ホール事業

県内唯一の芝居小屋である旭座の魅力を感じてもらうため、地域住民らで作る「旭座再生の会」がさまざまな企画を実施しました。

昨年8月31日に、県外から現代美術作家ら30人を集め、作品展を行う「アーティストインレジデンス」を開催。そのほか、ジャズナイトや懐かしの映画会などが行われました。

提案者 旭座再生の会
助成額 45万円



まち歩き
案内看板作成事業

歴史的な景観が残る小浜地区を訪れる観光客の誘導のため、観光案内（道案内）看板の作成を企画。看板は、現在ある小浜旧町名看板を、現在地や方向がわかるようにリニューアルしました。

まち歩きの実便性を高めるとともに、住民のおもてなし意識の醸成につながることを期待されます。

提案者 御食国若狭倶楽部
助成額 45万円



お初
戦国浪漫フェア

平成23年の大河ドラマ「江」で盛り上がった小浜の認知度の向上・定着を図ることを目的に事業を企画。昨年6月30日に、浅井三姉妹の次女・お初ゆかりの常高寺（浅間）でイベントを開催しました。

イベントでは、現代のお初を決める「お初コンテスト」や、古武術の演舞などが行われました。

提案者 若狭一領具足武者の会
助成額 37万8千円



ステップアップ！
ミチフリマーケット

道の駅「若狭おばま（和久里）」の活性化と魅力づくりを図るため、毎月開催されているフリーマーケットの規模を拡大。体験イベントの開催や名物商品の開発を進めました。

昨年8月18日には、夜間まで時間を延長した「ミチフリデナイト」を企画。家族連れなど多くの人でにぎわいました。

提案者 ミチフリマーケット実行委員会
助成額 27万7千円



キャンドルナイト
で省エネ

省エネや環境問題についての意識を高め、共有する場を作ることを目的に、イベントを開催しました。

事前に廃油を利用したキャンドルのワークショップを行い、当日（昨年7月28日）には、作ったキャンドルで食文化館（川崎三丁目）をライトアップしました。ほかにも、映画の上映や音楽ライブなどが行われました。

提案者 ecoeco実行委員会
助成額 18万円



おばま
いいところめぐり

「海のある奈良」と言われる小浜の貴重な文化財などを深く知る場を提供し、後世に伝えようと企画。手作りの紹介パンフレットを作成し、昨年11月2日に、観光バスによる見学ツアーを開催しました。

提案者 小浜市郷土研究会
助成額 17万5千円



担当の皆さんが顔を出してくれたことで、参加した人が「行政といっしょにやっている事業なんだ」と、理解していただけて良かったです。

みんなが笑顔になれる小浜へ

齊藤 皆さんの考えるこれからの小浜の目指すべき姿や、これからの抱負を教えてください。

山本久 赤ちゃんも、子どもも、お父さんお母さんも、おじいちゃんおばあちゃんも、みんなが笑顔になれる小浜がいいですね。そのためにも、ここに任んでいてこの町が好きと思える姿がないと。

川端 いろんな市民活動があると思うのですが、それぞれが楽しみながら活動に参加してもらおうということが大切です。

山本聡 自分たちが楽しむというのは大事です。ただ、やるのが重荷になるとみんな参加しにくくなるので、いかにこの楽しみを共有して、仕事の量も分散できるかが、今後の課題ですね。

募集中！

平成26年度
いいところ小浜づくり事業

市では、市民の自主的なまちづくり活動を促進し、協働によるまちづくりを進めるため、「いいところ小浜づくり事業」を募集しています。

【対象の事業】
市民と市が協働で取り組む、地域の課題解決につながる事業（年度内に終了すること）

【応募資格】

- 次のすべてに該当する団体
- ①5人以上で構成されている
- ②市内に活動拠点がある
- ③会則などがあり責任者が明確である
- ④適切な会計処理が行われている

【助成額】

事業費の4分の3以内（上限45万円）

※3力年を限度として、継続事業も対象。ただし、応募と審査は毎年必要です

【募集期間】

4月1日④～5月14日④

※申し込み方法など詳しくは、市民協働課 ☎内線372まで



3月6日にボランティアセンター（大手町）で撮影